

INDONESIA ROBUSTA WIB-1

ROBUSTA

WIB-1

「インドネシア ロブスタ WIB-1」は、インドネシア産のロブスタ種（カネフォラ種）のコーヒー豆で、「WIB-1」は精選方法と品質等級を指し、WIB-1は、ロブスタの中でも特級品として扱われています。

等級について

WIBは「West Indische Bereiding（西インド式精選）」の略で、オランダ語由来。英語では「West Indies Preparation」。これはウォッシュド（水洗式）の一種で、果肉を取り除いた後、発酵槽で粘液質を洗い流し、乾燥させる方法です。通常のウォッシュドより丁寧な処理が特徴で、ロブスタでは珍しい高品質な精選方法とされます。

-1: グレード1を意味し、インドネシアのロブスタ等級で最高品質。スクリーンサイズ（豆の大きさ）が16以上（直径16/64インチ以上）で、欠点豆が少なく（350gサンプルで欠点が11個以下程度）、均一性が保証されています。

特徴

ロブスタは特にジャワ島や南部地域で多く栽培され、「ジャバ・ロブスタ」として知られる場合もあります。精選方法はウォッシュド（WIB）。ロブスタではナチュラル（非水洗式）が主流ですが、WIB処理により雑味が減り、クリーンで滑らかな味わいです。ロブスタはカネフォラ種（*Coffea Canephora*）の通称で、アラビカ種と異なり、害虫や病気への耐性が強く、低標高（200～800m）でも育ちます。カフェイン含有量はアラビカの約2倍（1.7～4%）。酸味が少なく、力強い苦味とボディが特徴です。ブレンドや加工用途に広く使われます。